

レジメン名称: BV-CHP

CD30 陽性末梢性T細胞リンパ腫

ID _____ 患者氏名 _____ 様 (性別 _____)

身長 _____ cm 体重 _____ kg 年齢 _____ 歳 体表面積 _____ m²

HBs 抗原 (+ -) HBc 抗原 (+ -) HCV 抗体 (+ -)

薬剤	投与量	投与日														
		1 コース 3 週間 Day 1 2 3 4 5 8 15 22														
プレドニン	100 mg/body	↓	↓	↓	↓	↓	(day2 からは内服、計 5 日間投与)									
ドキソルビシン	50 mg/m ²	↓														
エンドキサン	750 mg/m ²	↓														
アドセトリス	1.8 mg/kg (最高 180mg/回)	↓														

レジメンオーダ以外に必要な処方

プレドニン(5) 20T 2×朝昼食後 4 日分、化学療法翌日から

注意事項

ドキソルビシンは起壊死性抗がん剤です。血管外漏出に特に注意してください。

ドキソルビシン：総投与量 500 mg/m² 以下

アドセトリス：インフージョンリアクション（気管支痙攣、蕁麻疹、低血圧、意識消失、ショックなど）に注意。

投与方法：1 日目	
1	生食 100mL ケモセーフロックの点滴セットを使用 メインルートにつなぎ、プライミング 点滴筒（チェンバー）を 3/4 程度満たす
2	グラニセトロン (3mg/100mL) 1V 30 分かけて点滴、メインルートから投与 終了後、メインルートを止める
3	プレドニン 100mg、生食 10 mL、下の側管からゆっくり静注
4	ドキソルビシン _____ mg、生食 100 mL、30 分かけて点滴、ケモセーフロックのルートより投与
5	エンドキサン _____ mg、生食 100mL、60 分かけて点滴、ケモセーフロックのルートより投与
6	生食 100mL メインルートから、ゆっくり、ウォッシュアウト（15 分ほど） 最後のウォッシュアウトで使用するので、使い切らないこと
7	アドセトリス _____ mg（最高 180mg）、（1 バイアル注射用水 10.5mL で溶解、5 mg/mL） ケモセーフロックのルートより投与 50mg 以下：生食 50mL で希釈、30 分で 50～150mg：生食 100mL で希釈、30 分で 150mg 以上：生食 250mL で希釈使用、60 分で （最終濃度は 0.4～1.2mg/mL とすること） 初回および 8 週以上あいたとき：開始 5 分後、15 分後、終了時に体温、脈拍、血圧測定 2 回目以降：終了時に体温、脈拍、血圧測定
8	6 の生食を使用し、ゆっくり、ウォッシュアウト 適宜途中終了可、残は破棄